

※1 単位時間は50分であるが、授業時間を40分とし、残りの10分は各クラスで授業の内容について担任と話をしたり、自由に相談できる時間としたりして確保した。

L H R 学習指導案①

1 題材名 「大切な体を知ろう」

2 本時の学習

(1) 本時の目標

- ・体の部分の適切な用語を知り、使うことができる。
- ・男女の体の同じところと違うところに気付く。
- ・体は大切なものであることを知り、清潔にすることの大切さを理解する。

(2) 準備 教師 男女の絵、用語カード(すてきな大人になるために、胸、性器) ばい菌カード、タオル

(3) 展開

学習内容	時間	教師の支援及び留意点	評価の観点
・あいさつをする。	導 入	・大きな声・良い姿勢で挨拶できるよう働きかける。	
「大切な体や心」「すてきな大人になるため」の学習をしていくことを知る。			
・「すてきな大人になるため」に「からだ」と「こころ」の学習(性教育)をしていくことを知る。	10分	・性教育の意味を知らせながら、恥ずかしいことではないことも同時に伝えるようにする。 ・キーワードには分かりやすく目立つようカードを用意する。	・関心をもって聞いているか。
男女の体の違いに気づき、体の適切な名称や役割について知る。			
・体の名称や役割を発表する。 ・男女の違いに気づき、適切な表現あることを知る。 ・性器の役割を知り、大切なものであることを知る。	展 開 10分	・分かりやすいよう、人の絵を用意する。 ・初めは服を着たものを用意し、頭、目、耳、手など服から出ている部分からふれ、次に服を取っていき、視覚的にとらえやすいようにする。 ・照れてふざけたりしてしまったり騒いだ場合にも注意せず、きっかけとして捉えて話を進める。 ・男女の違いについて俗語表現をした場合でも否定せず、適切な呼び方があることを知らせるようにする。 ・おっぱい→胸 おちんちんなど→性器 ・性器の役割については、「赤ちゃんを作る」ための器官であることをおおまかに説明する。詳しい役割よりも大切な部分という印象をもてるように説明する。 ・子宮や妊娠などについてふれる生徒がいた場合は、発言のひとつとして受け入れ、後日詳しく勉強することを説明する。	・体の名称やはたらきを発表できたか。 ・黒板の絵を良く見ているか。 ・胸、性器などの発言があるか。
清潔にすることの必要性や、体は大切なものであることに気付く。			
・体の中の汚れやすい部分を考え、ばい菌カードをはる。 ・きれいにしていく過程をみながら、性器を洗うときの注意点を知る。 ・裸の絵に洋服を着せ、洋服を着ることの必要性を考える。	15分	・不潔にしておくくと菌が繁殖したり、病気になったりすることを知らせる。 ・清潔にするための例を体の部分を示しながら、生徒が気付いて発言できるようにする。 ・特に入浴について取り上げ、服を着ている部分で汚れやすい場所を考えるように促す。ヒントとして、手や足を取り上げ、肌がくっついていたり洗いつらいところは汚れやすいことをあげる。 ・クラスごとにT2が加わりながら話し合う機会をもつ。ばい菌カードを用意し、実際に黒板の絵にはっていき活動を取り入れる。 ・体をきれいにする様子を、タオルでばい菌カードをはがしながら行う。 ・性器の部分に来た時に、再度大切なところであることを確認し、やさしく丁寧に洗うことを気付くようにする。 ・裸の絵に再度服を着せていき、なぜ服を着るのか考えられるようにする。 ・体温調節やけがをしないなどの健康面での意味と、大切な体をふざけて見せたり裸になったりすることは恥ずかしいことであるという社会的な意味をおさえるようにする。	・話し合いで発言できたか。 ・黒板にカードがはれたか。
・本時のまとめをし、次時の予告	まとめ 5分	・体は大切なものであることを確認し、授業後にふざけたりからかったりすることではないことを約束する。	

<p>を聞く。あいさつをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・気になったり聞きたかったりすることがある場合は、教師に聞くこと（同性）や、話して良い時と場所等を確認する。性器についても教師と話す時や友達と話す時、周囲に人がいるときやいないときなど話題にしてよいか意見を聞き、適切な表現を親しい人と、話して良い場所で用いることを確認する。 ・次時は大人になっていく体について学習することを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・約束について真剣に聞くことができたか。
---------------------	---	--

L H R 学習指導案②

1 題材名 「男女の体の成長を知ろう」

2 本時の学習

(1) 本時の目標

- ・男性と女性の体の発育・発達のしくみを知る。
- ・成長には個人差や男女差があることを知り、大人になっていく自然な出来事であると認めることができるとともに、大切な体であることに気づく。

(2) 準備 教師 男女の絵、用語カード（すてきな大人になるために、胸、性器、性毛、精子、精通、卵子、生理）

(3) 展開

学習内容	時間	教師の支援及び留意点	評価の観点
<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつをし、前時を振り返る。 	導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな声・良い姿勢で挨拶できるよう働きかける。 	
「すてきな大人になるため」に「からだ」の学習をしていくことを知る。			
<ul style="list-style-type: none"> ・「すてきな大人になるため」に「からだ」の学習を行うことを知る。 		<ul style="list-style-type: none"> ・キーワードには分かりやすく目立つようカードを用意する。 ・前回との関連性をもてるよう「なか子さん」「よしおくん」の絵を用意する。 	
男女の身体の変化や成長、違いについて知る。			
<ul style="list-style-type: none"> ・子供から大人への成長の変化を発表する。 ・体の中も変化していくことを知る。 	展開 15分	<ul style="list-style-type: none"> ・初めは服を着たものを用意し、服をはずせるようにしておく。 ・大人になるにつれ、変化したところを発表する。 《外側（見える部分）の変化》 (共通)・わき毛 ・性毛（大切な場所を守るため） (男性)・のどぼとけ・声変わり（男らしい声に） ・筋肉、体つき（がっちりしてカッコいい、力仕事） ・すね毛 ・ひげ (女性)・胸がふくらむ（赤ちゃんにミルクをあげる） ・丸みをおびる（女性らしい体） ・それぞれ、なぜ変化するのか、成長の意味について触れ、変化していくことは恥ずかしいことではなく大人になる過程であることを説明する。 《内側（体の中）の変化》 ・精通（赤ちゃんのもと、精子を作る） ・生理（赤ちゃんの卵、卵子を作る） ・照れてふざけたりしてしまったり騒いだりしてしまった場合にも叱らず、きっかけとして話を進める。 ・詳しい役割よりも大切な部分という印象をもてるように説明する。 ・子宮や妊娠などについてふれる生徒がいた場合は、発言のひとつとして受け入れ、後日詳しく勉強することを説明する。 ・違いはあるが、男女とも成長のしるしであることをおさえる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・変化したところに気づき、発言できたか。 ・変化していく図をよく見ていたか。
成長には個人差があることを知り、個人差や男女差があってもともに大切な体であることに気づく。			
<ul style="list-style-type: none"> ・身体が変化していく中で気になることや、悩みについて考える。 ・個人差や男女差があっても 	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒から意見が出ない場合は、なか子さんとよしおくんからという形で用意しておく。 ・なかこさんの悩み（胸が大きくない） ・よしおくんの悩み（性毛がはえてこない） ・二人の悩み（友達（異性）にからかわれる） ・背の大きさや体重と同じで、成長が早い人とゆっくりな人、大きい人や小さい人、形の違いがあることを説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・気になることを発表できたか。悩みに対する発言があったか。

に大切な体であることに気付く。			
・本時のまとめをし、次時の予告を聞く。あいさつをする。	まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> 大人になるにつれ体も成長していくこと、成長には個人差があること、体は大切なものであることを確認し、授業後にふざけたりからかったりすることではないことを約束する。 気になったり聞きたかったりすることがある場合は、教師に聞くこと（同性）や、話して良い時と場所等を確認する。性器についても教師と話す時や友だちと話す時、周囲に人がいるときやいないときなど意見を聞き、適切な表現を親しい人と、話して良い場所で用いることを確認する。 次時は男女別になり、精通や生理など大人になっていく体について学習することを伝える。 	・約束について真剣に聞くことができたか。

LHR 学習指導案③－1

1 題材名 「男女の成長」(男子グループ)

2 本時の学習

(1) 本時の目標

- ・男女の性器の構造や働きについて知り、自己の性意識を確かにし、異性に対する理解を深める。
- ・夢精やマスターベーション時の処置の仕方を知り、自他共に気持ちよく過ごせる方法を考える。

(2) 準備

教師 男女の絵、男性の内性器の絵、用語カード(すてきな大人になるために、からだ、こころ、性器、睾丸、精子、射精、生理)

(3) 展開

学習内容	時間	教師の支援及び留意点	評価の観点
・あいさつをし、前時を振り返る。	導入 10分	・大きな声・良い姿勢で挨拶できるよう働きかける。	
「すてきな大人になるため」に「からだ」の学習をしていくことを知る。			
・「すてきな大人になるため」に「からだ」の学習を行うことを知る。		<ul style="list-style-type: none"> ・キーワードには分かりやすく目立つようカードを用意する。 ・前回との関連性をもてるよう「なか子さん」「よしおくん」の絵を用意する。 ・第2次性徴について振り返る。 ・体の中(性器)の成長や変化について本時は学習していくことを知る。 	・第2次性徴について発言があったか。
射精・生理について知る。			
<ul style="list-style-type: none"> ・男性器の構造や発達について知る。 ・女性の体の発達を知る。 	展開 10分	<ul style="list-style-type: none"> ・初めは服を着たものを用意し、はがせるようにしておく。 ・自分の体のどのあたりか確認する。 ・赤ちゃんのもとをつくる場所(精巣)で、赤ちゃんのもと(精子)ができる ・好きな女の子を想像したり、きれいな女性をみてドキドキしたり、テレビや雑誌などで女性の裸を見たり、精子がいっぱいになると、男性器(ペニス)が大きくなり(勃起)、外へ出そうとする(射精) ・勃起や射精等経験したことがあるか確認し、「体が大人に成長している自然なこと」であることを説明する。経験のない生徒には、将来自分にも起こることであることを説明する。 ・男性と同じように、体の中で赤ちゃんを作るじゅんぴができていことに触れる。 ・内性器の構造や用語など詳しくは触れず、女性には「生理」があることや体調の変化、配慮について簡単に説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵を良く見ていたか。 ・自分の体に触れ確認することができたか。
射精やマスターベーション時の処置の仕方を知る。			
・性器や射精について気になることや悩みを考え、適切な方法を知る。	15分	<ul style="list-style-type: none"> ・勃起や射精の際に困ったことはなかったか、たずねる。(前段階かここで、射精やマスターベーションの経験があるか確認し、実態に合わせて授業を進めていく。) ○下着が汚れてしまったときの対応 →とりかえる。汚れたものは洗濯機へ。施設ではバケツへ。 ○性器が大きくなって、さわりたくなったらどうするか? 	・質問について自分のことを振り返りながら返事や発言

		→適切な場所・環境で行う。 ○マスターベーション（したくなったらする。ただしルールがある。） ・きれいな手で ・どこで 家でひとりになれる場所（施設は） ・だれ ひとりのときにする ・後始末の仕方 ・生徒から性器の洗い方や包茎について出た場合は、説明する。 ・逆に、みんなの前や学校で、性器に触れることはどうか考える。 →はずかしい、かっこわるい、きらわれる	ができたか。
・本時のまとめをし、次時の予告を聞く。あいさつをする。	まとめ 5分	・大人になるにつれ体も成長していくこと、体は大切なものであることを確認し、授業後にふざけたりからかったりすることではないことを約束する。 ・気になったり聞きたいことがある場合は、教師に聞くこと（同性）、話して良い時と場所等を確認する。性器についても教師と話す時や友達と話す時、周囲に人がいるときやいないときなど意見を聞き、適切な表現を親しい人と、話して良い場所で用いることを確認する。 ・次時は大人になっていく「こころ」について学習することを伝える。	・約束について真剣に聞くことができたか。

LHR 学習指導案③－2

1 題材名 「男女の成長」(女子グループ)

2 本時の学習

(1) 本時の目標

- ・男女の性器の構造や働きについて知り、自己の性意識を確かにし、異性に対する理解を深める。
- ・月経時の手当の仕方や生理用品の保管と携帯の仕方を知り、自他共に気持ちよく過ごせる方法を考える。

(2) 準備

教師 男女の絵、女性の内性器の絵、用語カード（すてきな大人になるために、からだ、こころ、性器、射精、子宮、卵巣、卵子、生理）、ナプキン、生理用ショーツ、ポーチ

(3) 展開

学習内容	時間	教師の支援及び留意点	評価の観点
・あいさつをし、前時を振り返る。	導入 10分	・大きな声・良い姿勢であいさつできるよう働きかける。	
「すてきな大人になるために」に「からだ」の学習をしていくことを知る。			
・「すてきな大人になるために」に「からだ」の学習を行うことを知る。		・キーワードには分かりやすく目立つようカードを用意する。 ・前回との関連性をもてるよう「なか子さん」「よしおくん」の絵を用意する。 ・第2次性徴について振り返る。 ・体の「中（性器）」の変化について本時は勉強していくことを知る。	・第2次性徴について発言があったか。
生理・射精について知る。			
・女性器の構造や発達について知る。	展開 15分	・初めは服を着たものを用意し、はがせるようにしておく。 ・自分の体のどのあたりか確認するようにする。 ・膣や尿道は理解しやすいよう名称にはふれず、「赤ちゃんの通り道・経血が出る場所」「尿が出る場所」「大便が出る場所」の3つがあることを説明する。 ・子宮＝赤ちゃんが育つところ ・卵巣＝赤ちゃんの元（卵子）が作られるところ ・生理＝妊娠（受精）しないと体の外へ出ていく。およそ1ヵ月に1回。 ・赤ちゃんを産む準備、お母さんになる準備が始まっていて、健康に成長した証拠であることをおさえる。 ・女性と同じように、赤ちゃんを作る準備ができていることに触れる。 ・内性器の構造や用語など詳しくは触れず、男性には「射精」があることについて簡単に説明する。 ・男女のしくみは違うが、「体が大人に成長している自然なこと」であることを説明する。	・子宮や卵巣のある場所を触ることができたか。
・男性器の発達			
月経時の手当の仕方や生理用品の保管と携帯の仕方を知る。			
・月経中で気になること、悩みを	10分	・話しやすいよう円になって座る。 ・月経は大人に成長したしるしであり、プラスのイメージがもてるよう	・質問について自分

<p>考え、気持ちよい過ごし方を考える。</p>		<p>な雰囲気作りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手当をしないと汚れる、臭う、恥ずかしい、不潔にしていると病気にもなることをおさえる。 ・ナプキンやショーツなど実物を用意し、目で見たり触れたりできるようにする。 <p>○生理痛の対処の仕方→休む、運動、好きなことや楽しいことをする。</p> <p>○生理用品について、どんなものがあるか、どこで売っているか確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ナプキン（1日に4～5回。多い時は2時間おきくらいで交換） ・生理用ショーツ →汚れた下着は、水で手洗いをしてから洗濯機へ。 <p>○急に始まってしまった時には？</p> <ul style="list-style-type: none"> →・学校では保健室 ・友だちにもらう ・いつも用意しておく（ポーチ等に入れる） <ul style="list-style-type: none"> ・逆に、みんなの前や学校で、生理について話したり、性器に触れることはどうか考える。 	<p>のことを振り返りながら返事や発言ができたか。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・本時のまとめをし、次時の予告を聞く。 ・あいさつをする。 	<p>まとめ 5分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大人になるにつれ体も成長していくこと、大切なものであることを確認し、授業後にふざけたりからかったりすることではないことを約束する。 ・気になったり聞きたいことがある場合は、教師に聞くこと（同性）、話して良い時と場所等を確認する。性器についても教師と話す時や友だちと話す時、周囲に人がいるときやいないときなど意見を聞き、適切な表現を親しい人と、話して良い場所で用いることを確認する。 ・次時は大人になっていく「こころ」について学習することを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・約束について真剣に聞くことができる。

LHR 学習指導案④－1

1 題材名 「性被害に合わないために、加害者にならないために」（男子グループ）

2 本時の学習

(1) 本時の目標

- ・世の中には、誘拐したり性的ないたづらをしたりする悪い人たちがいることを知り、誘われた時に身を守るための行動や、被害にあった時の対応を身に付ける。
- ・興味本位やふざけた気持ちでも、相手が嫌な思いをすれば加害者になることに気付き、気をつける気持ちをもつ。

(2) 準備 教師 男女の絵、用語カード（すてきな大人になるために、）、紙芝居1～4

(3) 展開

学習内容	時間	教師の支援及び留意点	評価の観点
<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつをし、前時を振り返る。 	<p>導入 10分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな声・良い姿勢であいさつできるよう働きかける。 	
<p>「すてきな大人になるために」「からだ」と「こころ」の学習をしていくことを知る。</p>			
<ul style="list-style-type: none"> ・「すてきな大人になるために」「からだ」と「こころ」の学習を行うことを知る。 		<ul style="list-style-type: none"> ・キーワードには分かりやすく目立つようカードを用意する。 ・前回との関連性をもてるよう「よしおくん」「なかこさん」の絵を用意する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話をよくきいているか。
<p>誘拐や性的ないたづらをする人がいることを知り、身を守る方法を考える。</p>			
<ul style="list-style-type: none"> ・自分の体が誰のものなのかを考え、知らない人に誘われたり、さわられたりしたらどうしたらよいか考える 	<p>展開 12分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・紙芝居を使い、具体的にイメージしやすいようにする。 <p>《紙芝居1》</p> <ul style="list-style-type: none"> ①あいさつ→あいさつ ②道に迷ったので教えてほしい→教える ③チョコをあげるから、おじさんの車で一緒に食べよう→いやだ、ことわる <p>《紙芝居2》</p> <ul style="list-style-type: none"> ①あいさつ→あいさつ ②世間話→答える ③「いいこだね」体をさわられる、下着に手を入れられる→いやだ、ことわる 	

		<ul style="list-style-type: none"> ・自分だったらどうするか具体的にイメージがわからない場合は、教師が実際に誘うロールプレイをする。 ・ひとりひとり指名して意見が出ない場合は、グループで考える時間を設定する。 ・もし誘いにのってしまった後、どうなるのかも伝えるようにする。 ・被害に遭いそうになった時の逃げ方や声の出し方について指名して、実際に声を出してみる。(「いや」「やめて」) ・知らない人だけでなく、身近な人でも「いや」ということをおさえる。 ・今までに性被害の経験があるかどうかたずね、もしあれば授業後、先生に話すことを助言する。すぐに出てきた場合はそのまま話を続けるようにし、内容の程度によって後で聞くようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・断る方法を考えられたか。 ・「いやだ」と声に出せたか。
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ふざけてしたことでも加害者になることを知り、気をつけられるようにする。</div>			
<ul style="list-style-type: none"> ・人の体のことを言ったり、友達の体をさわったりしていないか考える。 ・いやらしいことを言われたり、されたりした時の相手の気持ちを考える。 		<ul style="list-style-type: none"> ・紙芝居を使い、具体的にイメージしやすいようにする。 《紙芝居3》 ①なかこさんは最近胸が大きくなって来て気にしている。 ②よしおくんは、つい「おっばい」とからかって大きい声で言った。 ③なかこさんが泣いてしまった。 《紙芝居4》 ①よしおくんはなかこさんに用事があった。 ②呼んでも返事がなかったので、いきなり抱きついた。 ③なかこさんが「キャー、いやだ、やめてよ」となきながら言った。 ・なかこさんの気持ちを想像し、いやなことをされた相手の気持ちを考える。 (予想される答え) ・いやな気持ち、かなしい気持ち ・よしおくん「嫌い」 ・傷つく ・気持ち悪い ・興味本位やふざけた気持ちでも、相手がいやな思いをすれば加害であることに気付くようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・なかこさんの気持ちが考えられたか
<ul style="list-style-type: none"> ・もしいやなことをしたくなってしまう場合はどうするか考える。 		<ul style="list-style-type: none"> ・性的なことを言ったり、体を触ったりしてしまいたくなったときにはどうするか考える。 ・気持ちを落ち着かせるための具体的なスキルを考えたり伝えたりする。(胸をおさえる、口を押さえる) ・そのサインが出たときには教師がすぐに相談にのることを約束する。 ・大人(先生、施設職員、保護者など)に相談する。 ・「絶対にいけないこと」という点を確認する。 ・自分だけでなく、友達が被害に遭いそうになった時についても確認する。(友達から聞いた時も、大人に話す。) ・今までに性被害の経験や見たことがあるかどうかたずね、もしあれば授業後、先生に話すことを助言する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の示したサインを真似できたか。
<ul style="list-style-type: none"> ・本時のまとめをし、次時の予告を聞く。 ・あいさつをする。 	<p>まとめ 3分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の身は自分で守ること、危険なときの対処法を確認し、もしあってしまったら大人に相談することを約束する。 ・性の加害者になるような行動や言動は「絶対にいけないこと」という点を確認する。 ・気になったり聞きたいことがある場合は、教師に聞くこと(同性)を確認する。 ・次時は「好きな人ができたら」について学習することを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・約束について真剣に聞くことができる。

LHR 学習指導案④－2

1 題材名 「自分を守ろう・大切にしよう～誘いに乗らない、いやなことはことわる～」(女子グループ)

2 本時の学習

(1) 本時の目標

- ・世の中には、誘拐したり性的ないたづらをしたりする悪い人たちがいることを知る。
- ・危険な場所や時間を考え、誘われた時に身を守るための行動や、被害にあった時の対応を身に付ける。

(2) 準備 教師 女性の絵、用語カード(すてきな大人になるために)、紙芝居1～4、危険箇所の絵

(3) 展開

学習内容	時間	教師の支援及び留意点	評価の観点
<ul style="list-style-type: none"> あいさつをし、前時を振り返る。 	導入 3分	<ul style="list-style-type: none"> 大きな声・良い姿勢であいさつできるよう働きかける。 	
「すてきな大人になるため」に「からだ」と「こころ」の学習をしていくことを知る。			
<ul style="list-style-type: none"> 「すてきな大人になるため」に「からだ」と「こころ」の学習をすることを知る。 		<ul style="list-style-type: none"> キーワードには分かりやすく目立つようカードを用意する。 前回との関連性をもてるよう「なか子さん」の絵を用意する。 	<ul style="list-style-type: none"> 話をよくきいているか。
世の中には、誘拐や性的いたづらをしたりする悪い人たちがいることを知り、誘われた時に身を守るための行動を身に付ける。			
<ul style="list-style-type: none"> 自分の体が誰のものなのかを考え、知らない人に誘われたり、さわられたりしたらどうしたらよいか考える。 	展開 12分	<ul style="list-style-type: none"> 紙芝居を使い、具体的にイメージしやすいようにする。 《紙芝居1》 ①あいさつ→あいさつ ②道に迷ったので教えてほしい→教える ③チョコをあげるから、おじさんの車で一緒に食べよう→いやだ、ことわる 《紙芝居2》 ①あいさつ→あいさつ ②世間話をする→答える ③「かわいいね」顔を近づけてくる、下着に手を入れられる→いやだ、ことわる 自分だったらどうするか具体的にイメージがわからない場合は、教師が実際に誘う真似をし、発言を促す。・ひとりひとり指名して意見が出ない場合は、グループで考える時間を設定する。 断る方法、逃げる方法について具体的におさえる。 ○いやだ ○人を呼ぶ ○大きい声で ○逃げる、走る その他の性被害の具体例もあげておく。(性的な言葉「おっばい」などを言われる、胸をさわる、抱きつく、キスをするなど) もし誘いにのってしまった後、どうなるのかも伝えるようにする。 知らない人だけでなく、身近な人でも「いや」ということをおさえる。 	<ul style="list-style-type: none"> 紙芝居に注目しているか。 自分だったらどうするか発言や返事ができているか。 断る方法を考えられたか。
<ul style="list-style-type: none"> 被害に遭いそうになった時の逃げ方や声の出し方について実際に練習する 	20分	<ul style="list-style-type: none"> 教師が誘う側の役になり、実際に身を守る方法を練習する。 はじめは声のみ練習し、次に実際に動き段階を踏むようにする。 はじめに教師同士で見本を見せてから行う。(歩いていて声をかけられる。「こっちへおいで」と言われる。) 暴れて抵抗した際は、さらに危険な事になることもあることを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> 大きな声を出したり逃げたりできたか。
危険な場所や時間を考え、被害にあってしまった時の対応を知る。			
<ul style="list-style-type: none"> 危険な場所や時間について考える。 もしいやなことをされてしまった場合はどうするか考える。 	7分	<ul style="list-style-type: none"> 身近な場所の写真や絵を用意しておく ○暗いところ、人のいないところ ○夕方～夜 ○公衆トイレ、誰も乗っていないエレベーター ○ひとりで歩いている時や留守番している時 いやなことについて、具体的に説明するようにする。(性的な言葉と言われる、下着に手を入れられる、胸をさわる、抱きつく、キスをするなど) 自分だけでなく、友だちが被害に遭いそうになった時はどうするかも考える。 ○大人(先生、保護者、施設職員など)に相談する。 ○友だちから聞いた時も、大人に話す。 今までに性被害の経験があるかどうかたずね、もしあれば授業後、先生に話すことを助言する。すぐに出てきた場合はそのまま話を続けるようにし、内容の程度によって後で聞くようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 写真や絵を良く見ているか。 相談することを約束できたか。
<ul style="list-style-type: none"> 本時のまとめをし、次時の予告 	まとめ 3分	<ul style="list-style-type: none"> 自分の身は自分で守ること、危険なときの対処法を確認し、もし被害にあってしまったら大人に相談することを約束する。 	<ul style="list-style-type: none"> 約束について真剣

を聞く。 ・挨拶をする。	・気になったり聞きたいことがある場合は、教師に聞くこと（同性）を確認する。 ・次時は「異性への接し方」について学習することを伝える。	に聞くことができたか。
-----------------	---	-------------

L H R 学習指導案⑤

- 1 題材名 「大人になる心～異性への接し方」（男女別）
- 2 本時の学習
 - (1) 本時の目標
 - ・大人になるにつれ、異性への接し方が変わってくることを知る。
 - ・適切な異性との接し方や距離について知り、身に付けられるようにする。
 - (2) 準備
 - 教師 男女の絵、用語カード（すてきな大人になるために、接し方のポイント）
 - (3) 展開

学習内容	時間	教師の支援及び留意点	評価の観点
・あいさつをし、前時を振り返る。	導入 5分	・大きな声、良い姿勢であいさつできるよう働きかける。	
「すてきな大人になるため」に「こころ」の学習をしていくことを知る。			
・「すてきな大人になるため」に「からだ」と「こころ」の学習をすることを知る。		・キーワードには分かりやすく目立つようカードを用意する。 ・前回との関連性をもてるよう「なか子さん」「よしおくん」の絵を用意する。 ・前時で大人になると男女の体に違いが出てくる学習をしたことを振り返りながら、体の変化に伴って異性への接し方が変わってくる学習を確認する。	・男女の違いについて発言できたか。
異性との接し方について考え、実際に。			
・異性との距離感について考え、適切な距離や接し方を知る。	10分	・小学生の男女が仲良くしている絵（手をつなぐ、くすぐりあう）を見せ感想を聞く。 ・同じことを男性の教師と女性の教師がし、生徒の感想を聞く。 《予想される反応》 ・はずかしい、いやだ、エッチ ・自分や相手の気持ちだけでなく、周囲の人がどう感じるかについても触れる。 ・適切な距離や接し方、不適切な距離や接し方について具体的に示す。 (適切) ・片手の長さ程度の距離を保つ ・話しをする ・ゲームや運動等をする (不適切) ・近づきすぎる。 ・体（手をつなぐ等も含む）に触れる。（くすぐる、抱きつく、やたら握手する等もいけないこと） ・性的なことや体のことを言う。	・絵や教師の行動を見て、返事や発言ができたか。
・適切な距離を練習し、発表する。	20分	・ポイントとなることを分かりやすいようカードにして提示する。（片手1本分離れる、顔を見て話す） ・はじめに同性の教師で練習をしながら距離感を体験し、慣れてきたら異性の教師と練習する。 ・具体的な場面を設定して練習する。	・適切な距離を保つことができたか。
・本時のまとめをし、次時の予告を聞く。 ・あいさつをする。	まとめ 5分	・大人になるにつれ異性への接し方が変わることを確認する。 ・気になったり聞きたいことがある場合は、教師に聞くこと（同性）、話して良い時と場所等を確認する。 ・次時は「好きな人（異性）ができれば」について学習することを伝える。	・約束について真剣に聞くことができる。